

平成 21 年度事業概要報告書

本 部

(敬称略)

実 施 事 業	概 要
<p>1. 研究助成事業</p> <p>1) 研究奨励賞</p> <p>2) 国際交流基金による助成金交付</p> <p>3) アボット ジャパン・アレルギー学術奨励賞</p> <p>4) 自由課題研究助成</p> <p>5) 学術交流研究助成</p>	<p>アレルギー・免疫分野の臨床研究者に対する研究助成 応募者 5 名、研究助成委員会の審査により下記 1 名の研究者に対して研究奨励金を支給 研究者名：上田真由美（同志社大学生命医科学部） 研究題目：眼表面炎症疾患における自然免疫応答異常の証明と発症機序の解明</p> <p>日本人の海外での研究発表等、外国人の日本での研究発表、講演に対して交付 下記応募者 1 名に対して助成金交付 竹田正秀（秋田大学医学部）</p> <p>平成 21 年 7 月 23 日（木）審査委員会開催 第 19 回の応募者 14 名の中から下記 2 名の研究者に受賞決定 研究者名：渡邊智裕（京都大学大学院） 研究題目：自然免疫システムの活性化を用いた食物アレルギーの新規治療法の開発 研究者名：釣木澤尚実（国立病院機構相模原病院） 研究題目：Churg-Strauss 症候群の病態解明における基礎および臨床研究</p> <p>アレルギーおよび関連疾患領域研究の全国公募の中から 10 件に研究助成（研究委託）（別紙のとおり）</p> <p>学会、研究会等に対し学術交流研究費を助成 ・第 21 回日本アレルギー学会春季臨床大会 ・第 59 回日本アレルギー学会秋季学術大会 ・第 49 回臨床呼吸機能講習会</p>
<p>2. 啓発活動事業</p> <p>1) 第 16 回アレルギー週間</p> <p>(1) 企画内容</p> <p>(2) 後援</p> <p>(3) 啓発用ポスター</p> <p>(4) 広報</p>	<p>1) 統一標語：「アレルギーの克服に向けて」 2) アレルギー週間行事等 3) 本部、支部啓発活動</p> <p>厚生労働省、(社)日本医師会、(社)日本アレルギー学会</p> <p>1) 中小サイズ作成 2) 配布先：都道府県衛生部、保健所、医師会、患者相談協力専門医等、団体等 3) 配布数：中小約 12,000 枚</p> <p>1) 本部、各支部の講演会、医療相談会の行事紹介 朝日新聞全国版 平成 22 年 1 月 30 日、2 月 6 日 2) 協会ホームページ、メディアによる啓発報道</p>

実施事業	概要
2) アレルギー週間中央講演会 日時：平成 22 年 2 月 20 日 (土) 場所：ヤクルトホール 参加人数：327 名	テーマ「アレルギー疾患の予防と治療、自己管理を含め」 総合司会：西岡 清 (横浜市立みなと赤十字病院長) 基調講演：勝沼俊雄 (東京慈恵会医科大学小児科学講座准教授) 後藤 稔 (日本医科大学千葉北総病院耳鼻咽喉科講師) 池澤善郎 (横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学教授) 関東裕美 (東邦大学医療センター大森病院皮膚科准教授) パネルディスカッション パネリスト：基調講演の先生および足立 満 (昭和大学医学部呼吸器・アレルギー内科教授)
3) 「Allergy Today」発行	アレルギー性疾患をもつ患者さんおよびその家族を対象にしたニュースレターを患者会等に年 2 回発行、配布
4) アレルギー相談センターの運営	アレルギー疾患をもつ患者さんやその家族等の悩みや不安に対して看護師や専門医が電話等により相談に対応 平成 21 年度の相談件数 1,846 件
5) 患者相談協力専門医等名簿の発行	「平成 21 年度版 患者相談協力専門医等名簿」を発行、配布
6) 専門医等紹介事業	患者さんからの電話による問い合わせに対し専門医等を紹介
3. 学術情報活動事業 1) 機関誌「アレルギー」No.38 発行	平成 21 年 10 月 5,665 部発行し、各団体、日本アレルギー学会専門医等に配布
2) 「info Allergy」発行	アレルギー疾患の治療に携わる専門医、一般医、コメディカル向けに年 3 回発行、配布
4. 研修会事業 1) 実地医科向け研修会	「アレルギー研修会 2009」 後援：(社) 日本医師会、(社) 日本アレルギー学会 平成 21 年 10 月から 11 月まで全国 3 都市で開催 受講者：207 名
2) 賛助会員向け研修会	主題「2009 改訂アレルギー疾患診療ガイドラインを読み解く」 日時：平成 22 年 3 月 5 日 (金) 10 時 30 分から 16 時 10 分 受講者：53 名
5. 広報活動事業 ホームページでの情報提供	JANet Station の名称で情報提供
6. 受託抗原輸入代行事業	研究目的のため、研究者の要請に基づき抗原の輸入代行
7. 定例会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第 43 回理事会 平成 21 年 5 月 29 日 (金) ・理事会 平成 21 年 11 月 30 日 (月) 平成 22 年 2 月 26 日 (金) ・評議員会 平成 21 年 7 月 29 日 (水) 平成 22 年 3 月 19 日 (金) ・評議員選定委員会 平成 21 年 11 月 20 日 (金) ・常任理事懇談会 平成 21 年 12 月 18 日 (金)

本部 別紙：研究助成（研究委託）の研究者、テーマ

研究者名、所属	研究題目
大林浩幸 (東濃厚生病院)	遷延性及び慢性咳嗽の疫学調査
金廣有彦 (岡山大学病院)	喘息診断に有用となる指標の検討

研究者名、所属	研究題目
藤澤隆夫 (国立病院機構三重病院)	重症間欠型の乳幼児気管支喘息患者に対するブデソニド吸入用懸濁液の臨床効果の検討—無作為化オープン多施設並行群間比較試験—
田中俊憲 (千葉大学大学院)	NKT 細胞および Th ₂ 細胞によるアレルギー制御機構の解明
吉原重美 (獨協医科大学)	クループ症候群の患児に対するブデソニド吸入懸濁液の有効性の検討
牧田比呂仁 (呼吸器疾患コホート研究所)	気管支喘息患者の β_2 アドレナリン受容体遺伝子 Arg16Gly 多型における Salmeterol と Montelukast の効果に関する比較検討
勝沼俊雄 (東京慈恵会医科大学)	軽症持続型/中等症持続型の乳幼児気管支喘息患者に対する低用量ブデソニド吸入用懸濁液ならびにクロモグリク酸ナトリウム吸入液の有効性検討 (パイロット試験)
田村 弦 ((株) 仙台気道研究所)	吸入ステロイド薬の各デバイスが発生する薬剤エアロゾルの研究
牧田比呂仁 (呼吸器疾患コホート研究所)	難治性気管支喘息患者の背景因子、臨床的特徴に基づく病型分類と臨床経過に関する観察調査 (北海道難治性喘息コホート研究: Hi-CARAT 研究)
大田 健 (帝京大学医学部)	鼻炎合併喘息患者における QOL に関する観察研究

北海道支部 (支部長 大野重昭)

(敬称略)

実施事業	概要
<p>1. 研究助成事業</p> <p>1) 自由課題研究助成</p> <p>(1) 小池隆夫 (北海道大学医学研究科・第二内科)</p> <p>(2) 有賀 正 (北海道大学医学研究科・小児科)</p> <p>2) 学術交流研究助成</p> <p>(1) 第 4 回日本・豪州合同皮膚科学会 (共催) 平成 21 年 7 月 10 日～7 月 12 日</p> <p>(2) 第 36 回日本小児栄養消化器肝臓学会 (共催) 平成 21 年 10 月 9 日～10 月 11 日</p>	<p>「抗プロトロンビン自己抗体による向血栓細胞活性化のメカニズム」</p> <p>「原発性免疫不全症の病態解析」</p> <p>於：北海道大学学術交流会館 参加人数：360 名 会長：北海道大学皮膚科学分野 清水 宏</p> <p>於：北海道大学学術交流会館 参加人数：324 名 会長：札幌厚生病院小児科 今野武津子</p>
<p>2. 啓発活動事業</p> <p>1) 第 15 回アレルギー週間事業</p> <p>(1) 函館地区アレルギー週間事業 (主催) 平成 21 年 4 月 4 日 於：函館市民会館小ホール 参加人数：70 名</p> <p>(2) 札幌地区アレルギー週間事業 (主催) 平成 21 年 4 月 11 日 於：札幌市医師会館 5 階大ホール 参加人数：67 名</p>	<p>世話人：山田 豊 (函館中央病院小児科) 内容：講演と医療相談「アレルギーの克服に向けて」 講師：田中裕士 (札幌医科大学内科学第三講座)</p> <p>世話人：間口四郎 (石狩湾耳鼻科) 北市伸義 (北海道大学眼科学分野) 内容：講演、座談会と医療相談 「アレルギー疾患の克服をめざして」 講師：川嶋利瑞 (札幌駅前ヒフ科クリニック) 渡辺 徹 (わたなべ小児科・アレルギー科クリニック) 白崎英明 (札幌医科大学耳鼻咽喉科) 藤井 偉 (札幌医科大学第三内科)</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(3) 帯広地区アレルギー週間事業 (主催) 平成 21 年 5 月 23 日 於：帯広厚生病院講堂 参加人数：34 名</p> <p>2) 医師向け</p> <p>(1) 札幌耳鼻咽喉科アレルギーセミナー (共催) 平成 21 年 4 月 8 日 於：京王プラザホテル札幌 参加人数：97 名</p> <p>(2) 第 13 回北海道アレルギー研究会 (主催) 平成 21 年 6 月 27 日 於：札幌グランドホテル 参加人数：64 名</p> <p>(3) 第 18 回札幌臨床免疫アレルギーの集い (共催) 平成 21 年 7 月 29 日 於：札幌医大臨床第一講義室 参加人数：31 名</p> <p>(4) 第 19 回北海道喘息研究会 (共催) 平成 21 年 11 月 21 日 於：ロイトン札幌 参加人数：69 名</p> <p>(5) 小児喘息フォーラム 2010 in Sapporo (共催) 平成 22 年 1 月 9 日 於：ロイトン札幌 参加人数：189 名</p> <p>(6) 第 22 回北海道小児リウマチ性疾患研究会 (共催) 平成 22 年 2 月 27 日 於：ロイトン札幌 参加人数：65 名</p>	<p>世話人：高村 圭 (帯広厚生病院第一内科) 内容：講演と医療相談「アレルギーの克服に向けて」 講師：今野 哲 (北海道大学第一内科) 白崎英明 (札幌医科大学耳鼻咽喉科)</p> <p>内容：一般演題 2 題，基調講演 1 題 特別講演：川内秀之 (島根大学医学部耳鼻咽喉科学) 「スギ花粉症の病態と治療 -from the bench to clinic-」</p> <p>内容：一般演題 5 題 特別講演：荒川浩一 (群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野) 「小児気管支喘息におけるウイルス感染の重要性」</p> <p>内容：一般演題 2 題 特別講演：上松一永 (信州大学医学部 小児医学講座) 「自己炎症性疾患の病態・疾患・治療について」</p> <p>内容：一般演題 7 題 特別講演：松瀬厚人 (長崎大学医学部 呼吸器内科) 「感染症と気管支喘息」</p> <p>内容：パネルディスカッション 特別講演：西牟田敏之 (国立病院機構下志津病院) 「JPGL を踏まえた長期管理－JPAC を用いた完全コントロールを目指して－」</p> <p>内容：一般演題 4 題 特別講演：桑名正隆 (慶應義塾大学医学部 内科学教室リウマチ内科) 「血小板減少症と自己抗体」</p>

東北支部 (支部長 井上洋西)

(敬称略)

実 施 事 業	概 要
<p>1. 研究助成事業 自由課題に対する研究助成 (県推薦枠・受託研究各 1 件)</p>	<p>1) 「化学物質過敏症および喘息患者における受動喫煙の影響について」(実施予定期間 平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月) 2) 「アレルギー性鼻炎に関する研究」 (実施予定期間 平成 21 年 1 月～平成 21 年 12 月)</p>

実 施 事 業	概 要
<p>2. 啓発活動事業</p> <p>1) 第16回アレルギー週間行事</p> <p>(1) 山形県 日時：平成22年1月31日 於：霞城セントラル3階大講義室 参加人数：250名</p> <p>(2) 青森県 日時：平成22年2月20日 於：青森県観光物産館アスパム 参加人数：130名</p> <p>(3) 宮城県 日時：平成22年2月28日 於：仙台市シルバーセンター 参加人数：33名</p> <p>(4) 岩手県 日時：平成22年3月13日 於：岩手県教育会館（大ホール） 参加人数：85名</p> <p>(5) 秋田県 日時：平成22年3月20日 於：秋田市拠点センター ALVE 参加人数：150名</p>	<p>「アレルギーはこわくない」</p> <p>【講演】 稲毛 稔（公立置賜総合病院医療安全部副部長） 「喘息とのつきあい方」 和氣貴祥（県立新庄病院耳鼻咽喉科） 「花粉症はこわくない」 林 昌浩（山形大学医学部皮膚科） 「冬に多い皮膚のかゆみ」</p> <p>「アレルギーとどう付き合うか？様々なアレルギーとその対処法」</p> <p>【講演】 會田久美子先生（青森県立中央病院小児科） 「こどものぜんそく」 北村秀夫先生（青森県立中央病院皮膚科） 「新しいタイプの食物アレルギー」 山本勝丸（国立弘前病院呼吸器科） 「ぜん息を克服するために」 永井政男（永井耳鼻咽喉科クリニック） 「スギ花粉最新情報」</p> <p>「喘息患者とインフルエンザ」</p> <p>【講演】 高橋識至（NTT 東日本東北病院呼吸器科科長） 「成人喘息」 三浦克志先生（宮城県立子ども病院総合診療科部長） 「小児喘息」</p> <p>「みみ・はな・のどのアレルギー」</p> <p>【講演】 佐藤護人先生（佐藤耳鼻咽喉科医院院長） 「鼻（はな）のアレルギー（花粉症についても）」 亀井昌代先生（岩手医科大学耳鼻咽喉科） 「耳（みみ）のアレルギー」 遠藤芳彦先生（岩手県立中央病院耳鼻咽喉科科長） 「咽（のど）のアレルギー」</p> <p>「みなさんもやってみませんか？アレルギーの検査－アレルギーの病気と検査法について－」</p> <p>【講演】 〈進行役〉植木重治先生（秋田大学大学院感染・免疫アレルギー・病態検査学） 谷貝朋美先生（秋田大学大学院感染・免疫アレルギー・病態検査学） 「アレルギーの検査とぜんそく」 早川宏一先生（秋田組合総合病院 眼科） 「目のアレルギー」 本田耕平先生（秋田大学大学院耳鼻咽喉科・頭頸部外科学） 「アレルギー性鼻炎について」 小松真紀先生（秋田組合総合病院 小児科） 「小児のアレルギー（気管支喘息、食物アレルギー）」</p> <p>【アレルギー検査実演・実体験コーナー】 涙液検査・鼻汁検査・呼吸機能・呼気温度検査など</p>

実 施 事 業	概 要
<p>3. 研究会事業 実地医家向け研究会</p> <p>(1) 第43回東北アレルギー懇話会 日時：平成21年5月23日 於：秋田拠点センターアルヴェ2F</p> <p>(2) 山形アレルギー膠原病・自己免疫疾患勉強会 日時：平成21年5月28日 於：山形大学医学部第5講義室 参加人数：64名</p> <p>(3) 第19回福島県リウマチフォーラム 日時：平成21年6月20日 於：郡山ビューホテル 参加人数：48名</p> <p>(4) 第24回東北小児喘息アレルギー研究会 日時：平成21年6月21日 於：ユートリー（八戸市） 参加人数：43名</p>	<p>〈当番世話人〉 荏原順一（秋田大学大学院医学系研究科病態制御医学系感染・免疫アレルギー・病態検査学講座教授）</p> <p>【一般演題7題】</p> <p>【特別講演1】 座長：荏原順一（秋田大学大学院医学系研究科病態制御医学系感染・免疫アレルギー・病態検査学講座教授） 講演：秋山一男（独立行政法人国立病院機構相模原病院院長） 「気管支喘息と真菌アレルギーについて」</p> <p>【特別講演2】 座長：井上洋西（岩手医科大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野教授） 講演：清水孝雄（東京大学大学院医学系研究科研究科長生化学分子生物学教授） 「脂質メディエーター：代謝と受容体」</p> <p>【一般演題2題】 座長：今田恒夫（山形大学医学部第一内科准教授）</p> <p>【特別講演】 座長：今田恒夫（山形大学医学部第一内科准教授） 講演：星 哲哉（医療法人溪仁会手稲溪仁会病院総合内科主任医長） 「プライマリーDrとしての皮膚、関節所見の取り方と鑑別診断の進め方」</p> <p>【一般演題6題】 座長：小林浩子（福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科学講座）</p> <p>【特別講演】 座長：山本俊幸（福島県立医科大学医学部皮膚科学講座教授） 講演：竹原和彦（金沢大学大学院医学系研究科皮膚科学教授） 「強皮症の臨床・病因・最新治療」</p> <p>【一般演題1 3題】 座長：森川みき（森川小児科アレルギー科クリニック）</p> <p>【一般演題2 3題】 座長：山口淑子（山口クリニック）</p> <p>【ランチョンセミナー】 座長：田中完（弘前大学） 講演：市川邦男（筑波メディカルセンター病院小児科） 「ペットアレルギー―その臨床とアレルゲンの役割―」</p> <p>【ワークショップ4題】 座長：黒沼忠由樹（国立病院機構青森病院小児科） 座長：岡田昌彦（米沢市立病院）</p> <p>【特別講演】 座長：赤坂 徹（赤坂こどもクリニック） 講演：足立雄一（富山大学医学部小児科） 「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2008の解説」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(5) 第 47 回山形皮膚医学研究会 日時：平成 21 年 6 月 25 日 於：ホテルメトロポリタン山形 参加人数：35 名</p> <p>(6) 日本アレルギー協会東北支部秋田分会 第 22 回学術講演会 日時：平成 21 年 7 月 1 日 於：秋田キャッスルホテル 参加人数：61 名</p> <p>(7) 第 5 回宮城県免疫アレルギー懇話会 日時：平成 21 年 7 月 4 日 於：ホテル仙台プラザ 参加人数：46 名</p> <p>(8) 第 3 回東北喘息研究会 日時：平成 21 年 8 月 29 日 於：江陽グランドホテル 参加人数：154 名</p> <p>(9) 第 7 回ふくしま小児喘息治療懇話会 日時：平成 21 年 8 月 23 日 於：郡山ビューホテル 参加人数：20 名</p> <p>(10) 第 6 回郡山アレルギー研究会 日時：平成 21 年 9 月 12 日 於：ホテルプリシード郡山 参加人数：51 名</p>	<p>【一般演題 2 題】 座長：鈴木民夫（山形大学医学部皮膚科学分野教授） 講演：瀧川雅浩（浜松医科大学皮膚科学教授） 「みんなで悩もう、アトピー性皮膚炎の治療」</p> <p>【一般演題 2 題】 座長：佐藤一洋（秋田大学大学院医学系研究科循環器内科学・呼吸器内科助教）</p> <p>【特別講演】 座長：佐野正明（秋田大学大学院医学系研究科循環器内科学・呼吸器内科講師） 講演：相良博典（獨協医科大学越谷病院呼吸器内科教授） 「喘息治療におけるロイコトリエン受容体拮抗薬の位置づけ」</p> <p>【一般演題 4 題】 座長：石井智徳（東北大学血液・免疫科）</p> <p>【特別講演】 講演：佐野栄紀（高知大学医学部皮膚科学講座教授） 「喘息治療におけるロイコトリエン受容体拮抗薬の位置づけ」</p> <p>【成人喘息】 座長：進藤千代彦（東北大学医学系研究科副科長臨床生理検査学分野教授） 講演：足立 満（昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科教授）</p> <p>【小児喘息】 座長：鈴木順造（福島県立医科大学生命科学部門病態機能学教授） 講演：望月博之（群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野准教授） 「乳幼児喘息の早期治療介入の重要性」</p> <p>【パネルディスカッション】 座長：田村 弦（仙台気道研究所）</p> <p>【特別講演 1】 座長：鈴木重雄（大原総合病院小児科部長） 講演：斎藤純平（福島県立医科大学呼吸器内科）</p> <p>【特別講演 2】 座長：佐久間弘子（星総合病院小児科部長） 講演：荒川浩一（群馬大学医学部小児科）</p> <p>【一般演題】 講演：古川裕利（星総合病院皮膚科部長） 「アトピー性皮膚炎とケモカイン」</p> <p>【特別講演 1】 座長：太神和廣（おおがチャイルドクリニック院長） 講演：伊藤節子（同志社女子大学食物栄養科） 「食物アレルギーの診断と治療の実際」</p> <p>【特別講演 2】 座長：前田真作（寿泉堂総合病院呼吸器内科副院長） 講演：荻原順一（秋田大学医学部臨床検査医学教授） 「好酸球とアレルギーの臨床と病態一性差の視点一」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(11) 福島市医師会学術講演会 日時：平成 21 年 9 月 25 日 於：ホテル辰巳屋 参加人数：103 名</p>	<p>【一般演題】 座長：松浦圭文（太田総合病院附属太田西ノ内病院呼吸器センター長） 講演：斎藤純平（福島県立医科大学呼吸器内科学講座） 「COPD において呼気 NO は吸入ステロイド効果判定の指標となる」</p> <p>【教育講演】 座長：棟方 充（福島県立医科大学医学部呼吸器内科学講座教授） 講演：西村正治（北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野教授） 「COPD の診断と治療－現況と課題－」</p>
<p>(12) 山形喘息セミナー第 7 回学術講演会 日時：平成 21 年 10 月 2 日 於：東京第一ホテル米沢 参加人数：20 名</p>	<p>【一般演題】 座長：稲毛 稔（公立置賜総合病院呼吸器科） 講演：池田英樹（三友堂病院内科） 「喘息治療における肺機能検査」</p> <p>【特別講演】 座長：池田英樹（三友堂病院内科） 講演：新実彰男（京都大学呼吸器内科講師） 「咳喘息の病態・診断・治療」</p>
<p>(13) アレルギー疾患の薬物治療 日時：平成 21 年 10 月 22 日 於：ホテルメトロポリタン山形 参加人数：30 名</p>	<p>座長：鈴木民夫（山形大学医学部皮膚科学分野教授）</p> <p>【症例発表】 講演：林 昌浩（山形県立新庄病院皮膚科） 「アレジオンドライシロップ 1% の使用経験」</p> <p>【特別講演】 講演：島田真路（山梨大学医学部皮膚科学教室教授）</p>
<p>(14) 第 46 回いわきアレルギー懇話会 日時：平成 21 年 11 月 27 日 於：いわき市医師会館 参加人数：24 名</p>	<p>【特別講演】 座長：石原俊晴（福島労災病院呼吸器科部長） 講演：佐々木英忠（秋田看護福祉大学学長） 「高齢者の気管支喘息」</p>
<p>(15) 日本アレルギー協会東北支部学術講演会並びに世話人会 日時：平成 21 年 11 月 28 日 於：江陽グランドホテル 参加人数：46 名</p>	<p>【特別講演 1】 座長：小川 洋（福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座准教授） 講演：池田 勝（順天堂大学医学部耳鼻咽喉科学教室主任教授） 「鼻副鼻腔炎の病態に基づく治療戦略－喘息との関連を中心に－」</p> <p>【特別講演 2】 座長：高梨信吾（弘前大学大学院循環呼吸腎臓内科学准教授） 講演：興梠博次（熊本大学大学院医学薬学研究部呼吸器病態学分野教授） 「成人・高齢者喘息の診断と治療：吸入デバイスと薬剤の特徴を生かした外来診療」</p> <p>【特別講演 3】 座長：相場節也（東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学皮膚科学講座教授） 講演：塩原哲夫（杏林大学医学部皮膚科教授） 「重症薬疹を早く見つけるには」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(16) 第4回山形アレルギー膠原病自己免疫疾患 日時：平成22年1月28日 於：山形大学医学部第5講義室 参加人数：49名</p>	<p>座長：鈴木民夫（山形大学医学部皮膚科学教授） 【一般演題】 1. 講演：池田亜美（山形大学医学部内科学第一講座） 2. 講演：佐々木明子（山形大学医学部整形外科講座） 【特別講演】 講演：川上民裕（聖マリアンナ医科大学皮膚科学講座准教授） 「わかりやすく血管炎を説明します！」</p>
<p>(17) 第8回気道疾患対策セミナー 日時：平成22年1月30日 於：江陽グランドホテル 参加人数：371名</p>	<p>【特別講演1】 座長：本田耕平（福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座准教授） 講演：岡野光博（岡山大学大学院医歯学総合研究所耳鼻咽喉・頭頸部外科学准教授） 「耳鼻科からみた One airway, one disease」 【特別講演2】 座長：荻原順一（秋田大学医学部臨床検査医学教授） 講演：高橋 清（国立病院機構南岡山医療センター院長） 「成人喘息の発症・病態と上下気道疾患の連鎖－LT拮抗薬の役割－」</p>
<p>(18) 2010花粉症フォーラム 日時：平成22年2月11日 於：ホテルメトロポリタン山形 参加人数：28名</p>	<p>【一般演題】 座長：深瀬 滋（深瀬医院院長） 講演：太田伸男（山形大学医学部情報構造統御学講座講師） 「スギ花粉数とスギ花粉症患者の眼鼻以外の症状」 【教育講演1】 座長：青柳 優（山形大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野教授） 講演：岡野光博（岡山大学大学院医歯学総合研究所耳鼻咽喉・頭頸部外科学准教授） 「ガイドライン改訂点からみたアレルギー性鼻炎の新しい治療と治療への展望」</p>
<p>(19) 第9回岩手花粉症懇話会 日時：平成22年2月13日 於：ホテルロイヤル盛岡 参加人数：28名</p>	<p>【一般演題3題】 座長：佐藤護人（佐藤耳鼻咽喉科医院院長） 座長：須藤守夫（須藤内科クリニック） 【教育講演】 座長：井上洋西（岩手医科大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野教授） 講演：岸川禮子（独立行政法人国立病院機構福岡病院アレルギー科医長） 「花粉症の下気道症状（喘息も含めて）」</p>
<p>(20) 第17回福島県アレルギー研究会 日時：平成22年2月27日 於：福島テルサ 参加人数：26名</p>	<p>【一般演題6題】 座長：古田 実（福島県立医科大学医学部眼科学講座） 【特別講演】 座長：飯田知弘（福島県立医科大学医学部眼科学講座教授） 講演：高比良雅之（金沢大学眼科講師） 「IgG4関連疾患と眼窩病変」</p>

実施事業	概要
<p>(21) 第7回郡山アレルギー研究会 日時：平成22年3月6日 於：ホテルプリシード郡山 参加人数：48名</p> <p>(22) 第48回山形皮膚医学研究会 日時：平成22年3月19日 於：ホテルキャッスル山形 参加人数：36名</p>	<p>【一般演題】 講演：佐久間弘子（財団法人星総合病院小児科部長）</p> <p>【特別講演】 座長：今野昭義（総合南東北病院アレルギー・頭頸部センター所長） 講演：大久保公裕（日本医科大学耳鼻咽喉科准教授） 「アレルギー性鼻炎のエビデンスー薬物療法と免疫療法ー」</p> <p>【特別講演】 座長：金子史男（総合南東北病院皮膚免疫・アレルギー疾患研究所所長） 講演：秀道広（広島大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚科学教授） 「蕁麻疹・血管性浮腫のプライマリ・ケアガイドライン改訂作業からー」</p> <p>【特別講演】 座長：鈴木民夫（山形大学医学部皮膚科学教授） 講演：岩月啓氏（岡山大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野教授） 「乾癬の新治療戦略 TNFα 阻害薬をいかに使うか」</p>
<p>4. 定例会議 (1) 平成21年6月20日 (2) 平成21年12月15日</p>	<p>(1) 第1回東北支部理事会（於：盛岡市） (2) 第2回東北支部理事会（於：仙台市）</p>

北関東支部（支部長 福田 健）

（敬称略）

実施事業	概要
<p>1. 研究助成事業 自由課題研究助成</p>	<p>馬場廣太郎（獨協医科大学） 「鼻アレルギー診療ガイドライン改定に関する研究」</p>
<p>2. 啓発活動事業 第16回アレルギー週間 (1) 前橋（群馬県） 日時：平成22年2月20日（土） 於：群馬大学医学部保健学科ミレニアムホール 参加人数：38名</p> <p>(2) 新潟（新潟県） 日時：平成22年2月21日（日） 於：新潟ユニゾンプラザ 参加人数：26名</p>	<p>講演会： 1) 成人喘息 石塚 全（群馬大学医学部内科） 2) 小児喘息・食物アレルギー 小山春美（群馬大学医学部小児科） 3) アトピー性皮膚炎 天野博雄（群馬大学医学部皮膚科） 4) アレルギー性鼻炎・花粉症 川田倫之（群馬大学医学部耳鼻科）</p> <p>医療相談会：参加者23名</p> <p>講演会： 1) 成人喘息 篠川真由実（南部郷病院内科） 2) 小児喘息 阿部時也（新潟市民病院小児科） 3) アレルギー性鼻炎 鈴木正治（鈴木耳鼻咽喉科医院） 4) アレルギー性眼疾患 鈴木恵子（県立吉田病院眼科） 5) アトピー性皮膚炎 丸山友弘（皮膚科まるやまクリニック） 6) 薬剤アレルギー 渡部陽子（新潟調剤薬局）</p> <p>医療相談会</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(3) 宇都宮 (栃木県) 日時：平成 22 年 2 月 25 日 (木) 於：栃木県総合文化センター 参加人数：154 名</p>	<p>講演会：吉原重美 (獨協医科大学小児科学) 「小児アレルギー疾患発症と環境因子～保育所・幼稚園・学校現場で対応できることは?～」 研修会</p>
<p>3. 研修会事業 アレルギー研修会 2009 宇都宮 日時：平成 21 年 10 月 22 日 (木) 場所：宇都宮グランドホテル 参加人数：40 名</p>	<p>講演 1 座長：吉原重美 (獨協医科大学小児科准教授) 講師：亀田 誠 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科部長) 「乳幼児気管支喘息の治療－アドヒアランスを高める工夫－」 講演 2 座長：福田 健 (北関東支部長) 講師：松永和人 (和歌山県立医科大学医学部内科学第三講座講師) 「Primary Care における喘息の診断と治療」</p>
<p>4. 研究会事業 (1) 第 15 回 allergy Forum in Gunma 日時：平成 21 年 4 月 4 日 (土) 於：前橋マールキュリーホテル 参加人数：50 名 (2) アレルギー好酸球研究会 2009 日時：平成 21 年 6 月 20 日 於：大手町サンケイプラザ 参加人数：100 名 (3) 第 53 回新潟アレルギー研究会 日時：平成 21 年 6 月 27 日 於：新潟テルサ 参加人数：57 名 (4) 第 54 回新潟アレルギー研究会 日時：平成 21 年 11 月 7 日 於：新潟テルサ 参加人数：39 名</p>	<p>一般演題：2 題 特別講演：粒来崇博 (国立病院機構相模原病院アレルギー科) 「成人喘息管理における FeNO の可能性」 飯倉克人 (東京慈恵会医科大学病院小児科学教室) 「吸入ステロイドと呼気中一酸化窒素について」 Session 1 ～ Session 6：21 演題 特別講演：宮地良樹 (京都大学皮膚科) 「かゆみをめぐる最近の話題」 教育講演：松野正知 (県立吉田病院小児科) 「小児気管支喘息・治療管理ガイドライン 2008」 話題提供 1 題 一般演題 2 題 特別講演：宇野勝次 (福山大学薬学部) 「薬物過敏症に迫る」 話題提供 1 題 一般演題 2 題</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(5) 第19回湯田上カンファレンス喘息アレルギー研究会 日時：平成22年2月6日 於：新潟県県央地域地場産業リサーチコア 参加人数：38名</p> <p>(6) 新潟喘息治療研究会2010 日時：平成22年3月6日 於：ANAクラウンプラザホテル新潟 参加人数：120名</p>	<p>特別講演：伊藤浩明（あいち小児保健医療総合センターアレルギー科） 「小児喘息の治療における吸入ステロイドと長時間作用性吸入β_2刺激薬の使用法」</p> <p>パネルディスカッション： 1) 秋庭真理子（神奈川県立こども医療センターアレルギー科） 「重症持続型喘息として紹介された4症例」 2) 伊藤靖典（富山大学医学部小児科、現黒部市民病院小児科） 「年少児における呼気NO測定方法について」 3) 藤野 歩（神奈川県立こども医療センターアレルギー科） 「当院における食物アレルギーに対する特異的経口耐性誘導療法（SOTI）」 4) 福田啓伸（獨協医科大学小児科） 「モルモット気道におけるカンナビノイド受容体アゴニスト（WIN 55, 212-2）の抗原誘発血漿漏出反応の抑制効果」</p> <p>Session 1：「喘息治療に対する県下多施設実態調査からの研究報告」2題 特別講演：檜澤伸之（筑波大学大学院人間総合科学研究科呼吸器内科） 「気管支喘息の薬物療法—LTRA と LABA を中心に—」</p>

関東支部（支部長 伊藤幸治）

（敬称略）

実 施 事 業	概 要
<p>1. 研究助成事業 1) 自由課題研究助成</p> <p>2) 学術交流研究助成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーおよび関連疾患領域研究の自由課題の中から下記1件に対し研究助成 研究者名：同愛記念病院 黨 康夫 研究題目：喘息及びCOPD（気腫型と非気腫型）合併患者を対象とした、喘息治療薬とチオトロピウムの併用効果及び安全性に関する臨床比較研究 ・学会、研究会等に対し学術研究の助成 AR Forum2009
<p>2. 啓発活動事業 1) 第16回アレルギー週間 (1) 山梨アレルギー市民フォーラム 日時：平成22年2月7日（日） 場所：山梨大学医学部臨床小講堂 参加人数：約50名</p>	<p>座長：増山敬祐（山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 講演：高橋 博（山梨大学医学部眼科） 「眼科領域のアレルギー疾患について」 松岡伴和（山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 「花粉症について」 塚本克彦（山梨県立中央病院皮膚科） 「アトピー性皮膚炎について」 石原 裕（山梨大学医学部第二内科） 「気管支喘息について」 池田久剛（山梨厚生病院小児科） 「食物アレルギーについて」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 埼玉地区市民公開講座 2010 日時：平成 22 年 2 月 13 日（土） 場所：川口文化センター・リリア （埼玉県川口市） 参加人数：137 名</p> <p>(3) 神奈川県アレルギー患者相談会 日時：平成 22 年 2 月 21 日（日） 場所：横浜新都市ビル（そごう）9 階 参加人数：約 100 名</p> <p>(4) 千葉ブロック東部地区市民公開講座 日時：平成 22 年 2 月 27 日（土） 場所：成田市保健福祉館 参加人数：約 120 名</p> <p>(5) 東京城東地区講演会 日時：平成 22 年 2 月 27 日（土） 場所：同愛記念病院管理棟 4 階大会議室 参加人数：49 名</p> <p>2) 患者会等への助成</p>	<p>司会：永田 真（埼玉医科大学アレルギーセンター、同呼吸器内科） 講演：當間由子（東松山市立市民病院皮膚科） 「アトピー性皮膚炎」 倉島一喜（埼玉県立循環器呼吸器病センター呼吸器内科） 「気管支喘息」 飯野ゆき子（自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科） 「スギ花粉症」</p> <p>ーアレルギー疾患の予防、治療法をより良く知るためにー 司会：秋山一男（国立病院機構相模原病院） 講演：食物アレルギーの実態と診断、治療法について 講師：今井孝成（国立病院機構相模原病院） 個別相談 相談員 小児科：高増哲也（神奈川こども医療センター） 今井孝成（国立病院機構相模原病院） 皮膚科：池澤善郎（横浜市立大学附属病院） 川口博史（金澤皮膚科） 内 科：谷口正実（国立病院機構相模原病院） 秋山一男（国立病院機構相模原病院）</p> <p>「アレルギー・アトピーの克服に向けて～こどものアレルギーを考えよう～」 挨拶：岩本逸夫（旭中央病院） 第 1 部：特別講演 司会：松山 剛（県立佐原病院） 演者：永山博敏（旭中央病院皮膚科） 「アトピー性皮膚炎のかゆみ対策」 司会：関根邦夫（せきねこどもクリニック） 演者：黒田早恵（千葉県立こども病院アレルギー科） 「食物アレルギーについて」 第 2 部：質問コーナー 司会：関根邦夫（せきねこどもクリニック） 松山 剛（県立佐原病院） 回答者：特別講演演者 後藤 穰（日本医科大学千葉北総病院耳鼻咽喉科）</p> <p>司会：佐野靖之（東京アレルギー・喘息研究所長） 講演：気管支喘息について 黨 康夫（同愛記念病院アレルギー呼吸器科部長） 堀田信之（同科医師） 赤羽根真紀子（同科医師） 荒井嵩彦（同科医師） 小林要介（同科医師） 岡田幸法（同科医師） アレルギー相談・質問（同科医師全員）</p> <p>アレルギー喘息患者会活動に対する支援、助成 アレルギー週間行事に対する助成 ぜんそくサマースクール、喘息児サマーキャンプへの助成</p>
3. 会議の開催	役員会開催：平成 21 年 7 月 28 日

実 施 事 業	概 要
<p>1. 啓発活動事業</p> <p>第16回アレルギー週間事業</p> <p>(1) 岐阜県（県代表委員：近藤直実） 日時：平成22年2月18日（木） 場所：岐阜大学医学部附属病院 参加人数：36名</p> <p>(2) 三重県（県代表委員：竹内万彦） 日時：平成22年2月25日（木） 場所：三重大学医学部附属病院 参加人数：20名</p> <p>(3) 静岡県（県代表委員：早川啓史） 日時：平成22年2月28日（日） 場所：浜松市保健所 参加人数：56名</p>	<p>アレルギーについての講演および患者相談会 「学校生活とアレルギー」 寺本貴英（岐阜大学医学部小児科） 松井永子（岐阜大学医学部小児科） 近藤直実（岐阜大学医学部小児科）</p> <p>鼻アレルギー・花粉症についての医療相談会 竹内万彦（三重大学耳鼻咽喉科） 他</p> <p>アレルギー医療相談会 アトピー性皮膚炎について こどものアレルギーについて 大人のアレルギーよろず相談 アレルギーに関する栄養相談 橋爪秀夫（浜松医科大学皮膚科） 福屋辰樹（浜松医科大学小児科） 早川啓史（国立病院機構天竜病院内科） 中山順子（浜松医科大学附属病院） 赤井達哉（浜松医科大学附属病院）</p>
<p>2. 研究会等</p> <p>(1) 第11回名古屋呼吸器研究会（後援） 日時：平成21年5月28日（木） 場所：名古屋マリOTTアソシア 16F「ボールルーム」</p> <p>(2) 第9回愛知成人喘息研究会（後援） 日時：平成21年9月24日（木） 場所：名古屋マリOTTアソシア 16F「アイリス」</p>	<p>特別講演1 食物アレルギーによる呼吸器症状—喘息とアナフィラキシーの関連— 講師：伊藤浩明（あいち小児保健医療総合センター）</p> <p>特別講演2 気管支喘息の発症機序とその制御 講師：出原賢治（佐賀大学医学部分子生命科学）</p> <p>講演1 アレルギー反応とプロスタグランジン D2 講師：田中宏幸（岐阜薬科大学薬理学）</p> <p>講演2 脂質メディエーターとアレルギー性気道炎症 講師：土肥 眞（東京大学アレルギーリウマチ内科）</p> <p>講演3 アレルギー・炎症病態とロイコトリエン 講師：谷口正実（国立病院機構相模原病院）</p> <p>パネルディスカッション 司会：長谷川好規（名古屋大学医学部呼吸器内科）</p> <p>パネリスト 田中宏幸（岐阜薬科大学薬理学） 土肥 眞（東京大学アレルギーリウマチ内科） 谷口正実（国立病院機構相模原病院） 堀口高彦（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院呼吸器内科） 平松哲夫（小牧市民病院呼吸器・アレルギー科）</p>

実 施 事 業	概 要
<p>1. 啓発活動事業</p> <p>第16回アレルギー週間</p> <p>(1) 2010アレルギー週間・福井アレルギー電話相談 日時：平成22年2月22日 於：福井大学医学部</p> <p>(2) 第16回アレルギー疾患の講演と相談会 日時：平成22年2月20日 於：金沢大学附属病院 参加人数：32名</p> <p>(3) アレルギー疾患講演会と相談会 日時：平成22年3月7日 於：サンシップとやま 参加人数：50名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー性鼻炎・花粉症について……………耳鼻咽喉科3件 ・成人の気管支喘息について……………呼吸器内科1件 ・アトピー性皮膚炎について……………皮膚科5件 ・小児の喘息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー…小児科6件 <p>1) 講演会「アレルギー疾患の予防・治療」 金沢大学各診療科医師による講演 皮膚科……………アトピー性皮膚炎について 小児科……………食物アレルギーについて 眼科……………花粉症・アレルギー性結膜炎について 耳鼻咽喉科…花粉症・アレルギー性鼻炎について 呼吸器内科…成人気管支喘息について</p> <p>2) 個別相談会：各科専門医による相談会</p> <p>1) アレルギーについての講演会 ・アレルギー性鼻炎とつきあう 中川 肇（富山大学耳鼻咽喉科・経営企画情報部） ・食物アレルギー（経口減感作療法） 足立陽子（富山大学小児科） ・アトピー性皮膚炎の治療 牧野輝彦（富山大学皮膚科）</p> <p>2) 個別相談会</p>
<p>2. 研究会事業</p> <p>(1) 関西北陸喘息治療研究会北陸部会 学術集会（後援） 日時：平成21年5月30日 於：ホテル金沢 参加人数：86名</p> <p>(2) 北陸小児喘息治療研究会学術講演会 （後援） 日時：平成21年6月20日 於：ホテル日航金沢 参加人数：50名</p> <p>(3) 第13回北陸喘息研究会（共催） 日時：平成22年3月13日 於：ホテル金沢 参加人数：78名</p>	<p>1) 一般演題</p> <p>(1) 「アレルギー疾患診断・診療ガイドラインに即した喘息診療サポートツール（ASIST）の有用性について」 猪俣峰彦（富山大学第1内科）</p> <p>(2) 「Asthma Intervention Support Tool（ASIST）の有用性と問題点について Asthma Control Test（ACT）との比較～喘息死ゼロ作戦に向けて～」 大倉徳幸（金沢大学細胞移植学呼吸器内科）</p> <p>2) 特別講演 「残された最後の課題、高齢者喘息」－ neglected disease の見つけ方と実践的治療戦略－ 寺本信嗣（独立行政法人国立病院機構東京病院呼吸器内科医長）</p> <p>1) 活動報告 「Pediatric Asthma Support System（PASS）の導入によるガイドラインに沿った小児気管支喘息治療の推進」 中村利美（金沢医科大学小児科助教）</p> <p>2) 特別講演 「小児気管支喘息におけるウイルス感染の重要性」 荒川浩一（群馬大学大学院医学系研究科小児科学教授）</p> <p>1) 北陸喘息研究会奨励賞講演</p> <p>2) 特別講演1 「最新の喘息治療－喘息死ゼロを目指して－」 鈴木直仁（帝京大学医学部呼吸器内科准教授）</p> <p>3) 特別講演2 「小児の喘息ガイドラインと治療の最前線」 望月博之（東海大学医学部小児科教授）</p>

実 施 事 業	概 要
<p>1. 研究助成事業</p> <p>1) 自由課題研究助成</p> <p>(1) 継続課題</p> <p>(2) 新規研究課題</p> <p>2) 学術交流研究助成</p> <p>(1) 第10回日本呼吸器学会近畿支部 「肺の日」</p> <p>(2) 第46回日本小児外科学会学術集会</p>	<p>研究者（代表）に対して14件、研究助成</p> <p>(1) 9件実施（別紙のとおり）</p> <p>(2) 2件は22年度に持ち越し</p> <p>学会・総会に対し主として協賛金・寄付金の募集支援活動</p> <p>(1) 平成21年5月10日（大阪市） 梅田スカイタワーウェストビル36階</p> <p>(2) 平成21年6月1日～3日（大阪市） 大阪国際会議場（グランキューブ大阪）</p>
<p>2. 啓発活動事業</p> <p>1) 第16回アレルギー週間</p> <p>(1) 市民公開講座（奈良市） 平成22年2月13日（土） 於：奈良西部公民館 参加人数：42名</p> <p>(2) 市民公開講座 in 大阪（大阪府） 平成22年2月14日（日） 於：毎日新聞オーバルホール 参加人数：95名</p> <p>(3) 市民公開講座（兵庫県） 平成22年2月20日（土） 於：兵庫県民会館 参加人数：45名</p> <p>(4) 第6回滋賀アレルギーフォーラム 平成22年2月21日（日） 於：滋賀県民会館 参加人数：114名</p> <p>(5) 市民公開講座（和歌山県） 平成22年2月28日（日） 於：和歌山県民文化会館 参加人数：42名</p>	<p>市民公開講座・相談会（一般市民向け） テーマ「アレルギーとの付き合い方」 司会：中島重徳（近畿大学医学部奈良病院） 講演1：中島重徳（近畿大学医学部奈良病院） 「花粉症」 講演2：末廣 豊（大阪済生会 中津病院） 「食物アレルギー」</p> <p>テーマ「アレルギー克服に向けて」 司会：川瀬一郎（日本アレルギー協会関西支部長） 講演1：田中敏郎（大阪大学呼吸器・免疫アレルギー内科） 「アレルギーはどこまで克服できたか」 講演2：片岡葉子（大阪府立呼吸器アレルギー医療センター） 「もう迷わないでアトピー性皮膚炎の正しい知識と治療」 講演3：井上壽茂（住友病院） 「こどもの喘息～予防と治療～」</p> <p>テーマ「アレルギーとうまくつきあおう」 司会：石原享介（神戸市立医療センター西市民病院） 講演1：錦織千佳子（神戸大学医学系研究科） 「光とアレルギー～光とうまくつきあおう」 講演2：山岡幸司（やまおか小児科・アレルギー科クリニック） 「喘息のこどもたちのために」</p> <p>テーマ「こうして対応！アトピー性皮膚炎と食物アレルギー」 司会：野々村和男（守山市民病院） 講演1：星 恵理子（滋賀県立医科大学） 「2010年春季花粉飛散予想と抗ヒスタミン薬の選び方」 講演2：楠 隆（滋賀県立小児保健医療センター） 「食物アレルギー診療の動向について」 講演3：片岡葉子（大阪府立呼吸器アレルギー医療センター） 「アトピー性皮膚炎の診断と治療」</p> <p>テーマ「アトピーと花粉症」 司会：古川福実（和歌山県立医科大学） 講演1：中村智之（和歌山県立医科大学） 「アトピーを治せる医者はどこにいるのか？」 講演2：嶽 良博（だけクリニック） 「アレルギー性鼻炎・花粉症とうまいつきあい方」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>2) 医師向け</p> <p>(1) 第 46 回気管支喘息勉強会 平成 22 年 1 月 23 日 (大阪市) 於：アステラス製薬北大阪会議室 参加人数：51 名</p> <p>(2) 南大阪アレルギー性鼻炎セミナー 平成 22 年 1 月 23 日 (大阪府) 於：リーガロイヤルホテル堺 参加人数：60 名</p> <p>(3) 花粉症フォーラム in 大阪 平成 22 年 2 月 25 日 (大阪府) 於：ウェスティンホテル大阪 参加人数：121 名</p> <p>(4) 第 16 回アレルギー週間学術講演会 平成 22 年 2 月 25 日 (和歌山県) 於：ガーデンホテル ハナヨ 参加人数：19 名</p>	<p>アレルギー週間と並行して医師向け講演会実施 司会：村田卓士 (大阪医科大学) 福田優子 (福田クリニック) 一般演題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 西藤成雄 (西藤小児科子ども呼吸器・アレルギークリニック) 「開業医にできる気管支喘息患者への情報交換」 2) 末廣 豊 (大阪府済生会中津病院) 「当科における喘息教室の問題点」 3) 橋野温美 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター看護師) 「当院における長期入院児に対する喘息指導について」 4) 木村由美子 (東大阪市保健所健康づくり課看護師) 「東大阪市の小児喘息親子体操教室について」 <p>特別講演： 講師：益子育代 (国立成育医療センターアレルギー科) 「アドヒアランス向上のための行動科学的患者教育」</p> <p>Session 1 座長：森崎 昇 (堺市医師会耳鼻咽喉科医会) 講演：富田桂公 (近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科) 「風邪による喘息症状発現と IL の関わりについて」</p> <p>Session 2 座長：中村晶彦 (堺市医師会耳鼻咽喉科医会) 講演：久保伸夫 (大阪歯科大学耳鼻咽喉科) 「大阪府耳鼻咽喉科医会 花粉症アンケート解析結果報告」</p> <p>開会の辞 竹中 洋 (大阪医科大学)</p> <p>Session 1 司会：田中敏郎 (大阪大学呼吸器・免疫アレルギー内科) 講演：東田有智 (近畿大学呼吸器・アレルギー内科) 「気管支喘息とアレルギー性鼻炎」</p> <p>Session 2 司会：荻野 敏 (大阪大学保健学専攻) 講演：内藤健晴 (藤田保健衛生大学 耳鼻咽喉科) 「花粉症の咳嗽－喉頭アレルギーを含めて－」</p> <p>閉会の辞 川瀬一郎 (日本アレルギー協会関西支部長)</p> <p>司会：古川福実 (和歌山県立医科大学) 講演：井上千津子 (晒医院) 「田辺市で経験した皮膚悪性腫瘍」</p> <p>特別講演 1 池田浩己 (日本赤十字社和歌山医療センター耳鼻咽喉科) 「花粉症・アレルギー性鼻炎の治療最前線」</p> <p>特別講演 2 松永和人 (和歌山県立医科大学内科学第三講座) 「プライマリケアにおける喘息の診断と治療」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(5) 第6回大阪アレルギーネットワーク 平成22年2月25日(大阪市) 於：天王寺都ホテル 参加人数：32名</p>	<p>一般演題 座長：小西一夫(大阪市立大学医学部耳鼻咽喉科) 講演：愛場庸雅(大阪市立総合医療センター耳鼻咽喉科) 「臭覚障害とアレルギー」 足立舞子(大阪市立大学医学部皮膚科) 「鶏肉による食物依存性運動誘発性アナフィラキシー」</p> <p>特別講演 座長：新宅治夫(大阪市立大学医学部小児科) 演者：勝沼俊雄(東京慈恵医科大学小児科) 「小児のアレルギー疾患と最近のトピックス」</p>
<p>(6) 耳鼻咽喉科フォーラム2010 平成22年3月4日(大阪市) 於：ウェスティンホテル大阪 参加人数：42名</p>	<p>座長：久保伸夫(大阪歯科大学耳鼻咽喉科) 講演1：松代直樹(大阪警察病院耳鼻咽喉科) 「そこが知りたい顔面神経麻痺Q&A～診断・病因・治療・後遺症対策～」 講演2：榎本雅夫(NPO日本健康増進支援機構) 「今年のスギ花粉飛散と第二世代抗ヒスタミン薬」 講演3：後藤穰先(日本医科大学千葉北総病院耳鼻咽喉科) 「患者満足度に基づいた花粉治療戦略」</p>
<p>(7) 第11回京都アレルギークロストーク 平成22年3月4日(京都府) 於：メルパルク京都 参加人数：65名</p>	<p>当番幹事：三島理晃(京都大学医学部呼吸器内科学) 特別講演1 座長：加藤則人(京都府立医科大学皮膚科学) 講演：興梠博次(熊本大学呼吸器内科学) 「外来診療に応用できる喘息とCOPDのトピックス」</p> <p>特別講演2 座長：三島理晃(京都大学医学部呼吸器内科学) 講演：長田重一(京都大学医学研究科分子生物学) 「死細胞の貪食と分解」</p>
<p>(8) 第14回南大阪アレルギーカンファレンス 平成22年3月1日(大阪府) 於：LIC はびきの 大会議室 参加人数：27名</p>	<p>当番世話人：土居 悟(大阪府立呼吸器アレルギー医療センター) 特別講演 座長：礪川貞之(礪川医院) 講演：伊藤節子(同志社女子大学生生活科学部食物栄養科) 「食物アレルギーについて」</p>
<p>(9) 第6回京都臨床アレルギー研究会 平成22年3月16日(京都府) 於：芝蘭会館 参加人数：27名</p>	<p>当番世話人：梶島健治(京大医学研究科皮膚生命科学) 一般演題 座長：梶島健治(京大医学研究科皮膚生命科学) 講演：向田公美子(滋賀県立小児保健医療センター) 「乳児期に食物アレルギーで除去していた患児の学童期における身体発育」 講演：竹田知史(京都大学医学研究科呼吸器内科学) 「FunctionalMRIによる咳の中樞性機序の解析」 講演：江川形平(京都大学医学研究科創薬医学融合拠点/皮膚科学) 「2光子顕微鏡を用いた皮膚免疫応答のライブイメージング」</p> <p>特別講演 座長：宮地良樹(京都大学医学研究科皮膚生命科学) 講演：中江 進(東京大学医学研究科フロンティア研究拠点) 「IL-17ファミリーとアレルギー」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(10) 第 15 回京都皮膚科治療フォーラム 平成 22 年 3 月 18 日 (京都府) 於：ホテルグランヴィア京都 参加人数：51 名</p> <p>(11) 第 9 回関西膠原病フォーラム 平成 22 年 3 月 20 日 (京都府) 於：メルパルク京都 参加人数：68 名</p> <p>3) 一般向け (1) 喘息児童の自然に触れ合う野外教室 (共催) 小～中学生の喘息児童を対象に平成 21 年 5 月から平成 22 年 2 月にかけて、日帰 り又は 2 泊 3 日の日程で合計 4 回実施</p>	<p>世話人：宮地良樹 (京都大学医学研究科皮膚生命科学) 特別講演 1 座長：平野眞也 (京都皮膚科医会) 講演：加藤則人 (京都府立医科大学皮膚科学) 「アトピー性皮膚炎の治療：未来の展望」</p> <p>特別講演 2 座長：宮地良樹 (京都大学医学研究科皮膚生命科学) 講演：森脇真一 (大阪医科大学皮膚科学) 「光環境と皮膚～色素性乾皮症と向き合って～」</p> <p>当番世話人：佐野 統 (兵庫医科大学内科学リウマチ膠原病科) 特別講演 1 座長：吉川敏一 (京都府立医科大学消化器内科学) 講演：三輪洋人 (兵庫医科大学消化器内科) 「NSAID による消化管障害の原因と治療」</p> <p>特別講演 2 座長：三森経世 (京都大学臨床免疫学) 講演：竹内 勤 (慶応義塾大学医学部内科学リウマチ内科) 「SLE の病態と最新の治療」</p> <p>特別講演 3 座長：佐野 統 (兵庫医科大学内科学リウマチ膠原病科) 講演：尾崎承一 (聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・ア レルギー内科 「ANCA 関連血管炎—an update」</p> <p>主催：大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター：小児科 土居 悟主任部長下昭和 53 年から事業開始・21 年度は 1) 第 1 回：平成 21 年 5 月 21 日 大阪市立信太山キャンプ場・新型インフルエンザ感染予防の ため中止 2) 第 2 回：平成 21 年 8 月 21 日～23 日 大阪府立青少年海洋センター・参加児 31 名 3) 第 3 回：平成 21 年 11 月 15 日 蜻蛉池公園・新型インフルエンザ感染予防のため中止 4) 第 4 回：平成 22 年 2 月 14 日 大阪府立少年自然の家・参加児 31 名</p>
<p>3. 研修会事業 (1) アレルギー研修会 2009：神戸 平成 21 年 11 月 28 日 於：兵庫医師会館 参加人数：125 名</p>	<p>テーマ「アレルギー治療の最前線」 挨拶：川瀬一郎 (日本アレルギー協会関西支部支部長) 講演：幸野 健 (関西労災病院皮膚科) 「EBM の観点から見た抗ヒスタミン薬のポジショニング」 講演：岡野光博 (岡山大学医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉科) 「プライマリーのための花粉治療対策」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 奈良アレルギー研修セミナー 平成 22 年 1 月 30 日 ホテル日航奈良 参加人数：104 名</p>	<p>テーマ「アレルギー治療の最前線」 挨拶：中島重徳（日本アレルギー協会常任理事）</p> <p>Session 1 座長：嶋 緑倫（奈良県立医科大学小児科学講座） 講演：河野陽一（千葉大学医学研究院小児病態学） 「ガイドラインを基にした小児気管支喘息の治療—長期管理における薬物療法」</p> <p>Session 2 座長：家根旦有（近畿大学医学部奈良病院耳鼻咽喉科） 講演：今野昭義（千葉大学 / 総合南東北病院アレルギー・頭頸部センター） 「花粉症の病態と治療上の問題点～実地医家の為の治療戦略～」</p> <p>Session 3： 座長：山田秀和（近畿大学医学部奈良病院皮膚科） 講演：片山一朗（大阪大学医学系研究科皮膚科学） 「ガイドラインに沿ったアトピー性皮膚炎の治療」</p>
<p>4. 研究会事業</p> <p>(1) 小児科医のための喘息治療フォーラム 平成 21 年 5 月 16 日（大阪府） 於：梅田スカイビルタワーウェスト 参加人数：95 名</p> <p>(2) 第 9 回北摂吸入療法フォーラム 平成 21 年 6 月 27 日（大阪府） 於：ホテルアイボリー 参加人数：44 名</p>	<p>実施医科医を対象とした研究会・セミナー講演会等の共催 特別講演 座長：岡本奈美（済生会吹田病院） 講演：亀田 誠（大阪府立呼吸器アレルギー医療センター） 「小児喘息治療における病診連携～診療所のメリットと病院のメリット～」</p> <p>一般講演 座長：南部光彦（天理よろず相談所病院） 吉田 晃（日本赤十字和歌山医療センター） 講演 1：福田優子（福田クリニック） 「小児喘息治療における病診連携の実際」 講演 2：木村三郎（木村小児科） 「開業医が専門医との連携を通して学んだこと」 講演 3：山岡幸司（やまおか小児科アレルギー科クリニック）</p> <p>総合討論 座長：長 澄人（済生会吹田病院呼吸器病センター） 講演 1：貴島源一（北摂総合病院呼吸器内科） 「COPD の概念・病態・診断基準について」 講演 2：佐田 誠（国立循環器病センター心臓血管内科） 「合併症としての循環器障害について」 講演 3：橋本章司（大阪大学医学部附属病院感染制御部） 「合併症としての呼吸器感染症について」</p> <p>特別講演 座長：伊藤正巳（国立病院機構刀根山病院） 講演：前倉亮治（国立病院機構刀根山病院） 「COPD（慢性閉塞性肺疾患）の治療」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(3) 第 11 回南大阪呼吸器フォーラム 平成 21 年 6 月 27 日 (大阪府) 於：リーガロイヤル堺 参加人数：46 名</p>	<p>Session 1 座長：岡崎 浩 (医療法人方祐会植木病院呼吸器内科) 講演：大成功一 (市立堺病院呼吸器内科) 「オフィススパイロメトリーと COPD の早期診断治療」</p> <p>Session 2 特別講演 座長：緒方 洋 (同仁会耳原総合病院内科) 講演：宮武明彦 (宮武内科) 「喘息専門クリニックでの臨床研究～ISC を中心に～」</p>
<p>(4) 第 10 回小児・成人喘息フォーラム 平成 21 年 7 月 11 日 (大阪府) 於：阪急電鉄本社ビル 参加人数：30 名</p>	<p>テーマ「気管支喘息の初期治療について」</p> <p>講演 1 座長：八上隆行 (洛和会音羽病院小児科) 演者：山田勝彦 (ヤマダ医院) 「プライマリケア疾患としての成人気管支喘息の初期治療－治療差別化のポイントは？」</p> <p>講演 2 座長：藤田一彦 (大阪医科大学付属病院呼吸器内科) 演者：洪 真紀 (枚方市民病院小児科) 「乳幼児・小児喘息の初期治療について」</p>
<p>(5) 第 45 回気管支喘息勉強会 平成 21 年 7 月 25 日 (大阪府) 於：アステラス製薬北支店会議室 参加人数：51 名</p>	<p>テーマ「こどものぜんそくは、なおせますか？」</p> <p>司会：小野 厚 (大阪府済生会泉尾病院小児科) 亀田 誠 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター)</p> <p>演者：吉原重美 (獨協医科大学医学部小児科学) 「小児気管支喘息の薬物による早期介入」</p> <p>演者：井上壽茂 (住友病院小児科) 「抗炎症薬もコントローラーに過ぎない」</p> <p>演者：南部光彦 (天理よろず相談所病院小児科) 「小児喘息管理における環境整備の重要性」</p> <p>演者：村田卓士 (大阪医科大学小児科) 「掃除でぜんそくがなんとかなるのなら…」</p> <p>「総合討論」</p>
<p>(6) アレルギー治療の最前線 平成 21 年 7 月 25 日 (大阪府) 於：ホテルニューオータニ大阪 参加人数：58 名</p>	<p>テーマ「蕁麻疹・アトピー性皮膚炎の治療」 座長：片山一朗 (大阪大学医学系研究科皮膚科学講座)</p> <p>特別講演 1 講演：川田 暁 (近畿大学医学部皮膚科) 「慢性蕁麻疹の治療戦略」</p> <p>特別講演 2 講演：大槻マミ太郎 (自治医科大学皮膚科)</p>
<p>(7) 蕁麻疹・アトピー性皮膚炎治療 平成 21 年 9 月 17 日 (大阪府) 於：スイスホテル南海大阪 参加人数：76 名</p>	<p>特別講演 座長：川田 暁 (近畿大学医学部皮膚科) 講演：古川福実 (和歌山県立医科大学皮膚科) 「蕁麻疹・アトピー性皮膚炎～ガイドライン～Uptodate～」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(8) 第3回豊能小児喘息懇話会 平成21年9月26日(大阪府) 於：千里ライフサイエンスセンター 参加人数：35名</p>	<p>代表世話人：牧 一郎(市立池田病院副院長) 一般演題 座長：山上文良(山上小児科クリニック) 演者：亀崎沙織(かめさきこども・アレルギークリニック) 金野 浩(箕面市立病院小児科) 「病医院で経験された具体的症例の提示」 特別講演 座長：牧 一郎(市立池田病院小児科) 講演：足立雄一(富山大学医学部小児科教室) 「上手に小児喘息をコントロールするには」</p>
<p>(9) 第30回近畿アトピー性皮膚炎談話会 平成21年9月26日(大阪府) 於：住友クラブ 参加人数：46名</p>	<p>世話人：楠 隆(滋賀県立小児保健医療センター小児科) 一般演題 演者：吉田 晃 他(日本赤十字社和歌山医療センター小児科) 「低蛋白、低ナトリウム血症を認め、意識障害を来したアトピー性皮膚炎の一例」 演者：住本真一(大阪赤十字病院小児科) 「乳幼児アトピー性皮膚炎における食物アレルギーの関与」 演者：上原正巳 他(滋賀医科大学皮膚科) 「母乳中の豆関連食物や発酵食品による乳児アトピー性皮膚炎の悪化」 演者：末廣 豊 他(大阪府済生会中津病院) 「Th₂ phenotype spread 阻止における抗アレルギー薬の効果」 演者：片岡葉子 他(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 片山一朗 他(大阪大学医学系研究科皮膚科学) 「乳児期初期の皮膚生理機能の変化とスキンケアによるアトピー性皮膚炎発症予防の試み」 教育演題 座長：片岡葉子(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 演者：楠 隆(滋賀県立小児保健医療センター小児科) 「疫学調査からみた肥満、食習慣とアレルギー」 演者：北場 俊(大阪大学医学系研究科皮膚科学) 「アトピー性皮膚炎罹患者に対する生活習慣アンケート結果」 演者：佐藤 亨(京都大学医学系研究科小児科) 「乳児ビタミンD欠乏症の現況：免疫調整作用と関連して」 特別講演 座長：楠 隆(滋賀県立小児保健医療センター小児科) 講演：大矢幸弘(国立成育医療センター) 「小児アトピー性皮膚炎治療のEBMとProactive therapy」</p>
<p>(10) 第13回南大阪小児アレルギーカンファレンス 平成21年10月15日(大阪府) 於：大阪南医療センター 参加人数：28名</p>	<p>講演1 座長：小野 厚(大阪済生会尾病院小児科) 演者：村山史秀(村山小児科) 講演2 座長：村上佳津美(近畿大学医学部堺病院小児科) 演者：土生川千珠(南和歌山医療センター小児科)</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(11) 第 6 回堺小児アレルギー研究会 平成 21 年 10 月 24 日 (大阪府) 於：リーガロイヤルホテル堺 参加人数：37 名</p> <p>(12) 第 18 回 Kinki Chest Club 平成 21 年 10 月 31 日 (大阪府) 於：ヒルトン大阪 参加人数：120 名</p>	<p>代表世話人：森口直彦 (近畿大学医学部堺病院小児科)</p> <p>Ssssion 1 座長：西機哲生 (にしきこどもクリニック) 演者：田中 充 (耳原総合病院小児科) 「堺市における小児皮膚炎アンケート結果報告」 演者：中川 元 (耳原総合病院小児科) 「漢方を内服し、哺乳低下したアトピー性皮膚炎の 1 例」 演者：佐藤美津子 (佐藤小児科) 「乳児アトピー性皮膚炎にステロイドを使わない方が予後がよいか？」</p> <p>Session 2 特別講演 座長：田中 充 (耳原総合病院小児科) 講演：片岡葉子 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科) 「Evidence に基づく乳幼児アトピー性皮膚炎の治療戦略」</p> <p>特別講演 1 座長：川瀬一郎 (大阪大学医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科) 講演：矢野聖二 (金沢大学がん研究所腫瘍内科) 「肺がんの分子標的薬耐性とその克服に向けた戦略」</p> <p>特別講演 2 座長：一ノ瀬正和 (和歌山県立医科大学内科学第三講座) 講演：永井厚志 (東京女子医科大学) 「JRS2009 ガイドラインからのメッセージ～ COPD の早期診断・早期治療の重要性～」</p>
<p>5. 講演会・講習会事業</p> <p>(1) 第 63 回臨床アレルギー研究会 (関西) 平成 21 年 5 月 9 日 (近畿) 於：大日本住友製薬 本社 7 階 参加人数：68 名</p>	<p>関西一円のアレルギー専門医を対象とした講習会</p> <p>一般演題 座長：前田恵治 (NTT 西日本大阪病院内科) 山田秀和 (近畿大学医学部奈良病院皮膚科) 演者：平野 亨 他 (大阪大学呼吸器・免疫アレルギー内科) 「酵素処理イソケルシトリンのスギ花粉症に対する治療効果の検証」 講演：池田容子 他 (近畿大学医学部奈良病院皮膚科) 「TARC を活動度指標にしたシクロスポリンを用いたアトピー性皮膚炎の治療例」</p> <p>特別講演 1 座長：山田秀和 (近畿大学医学部奈良病院皮膚科) 講演：秋山真志 (北海道大学医学研究科皮膚科学分野) 「フィラグリン遺伝子変異がアトピー性皮膚炎の重要な発症因子である」</p> <p>特別講演 2 座長：前田恵治 (NTT 西日本大阪病院内科) 講演：中西憲司 (兵庫医科大学免疫学・医動物学講座) 「新しいアレルギー性炎症の概念」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 第 64 回臨床アレルギー研究会 (関西) 平成 21 年 11 月 28 日 (近畿) 於：リーガロイヤル NCB 参加人数：43 名</p> <p>(3) 第 4 回奈良小児喘息治療講習会 平成 21 年 12 月 12 日 (奈良県) 於：橿原ロイヤルホテル 参加人数：35 名</p>	<p>一般演題 座長：橋爪 誠 (橋爪医院) 林田道昭 (林田クリニック) 演者：高岡有理 他 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 「食物アレルギーの予期せぬ摂取により即時型誘発症状で緊急受診した症例の検討」 演題：松井佐起 他 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 「豆乳アレルギーの 3 例」 演題：榎木博茂 (榎木医院) 「当院の気管支喘息における吸入ステロイド治療状況」 演題：池田浩己 他 (関西医科大学耳鼻咽喉科) 「いわゆるシックハウス症候群および化学物質過敏症の経験」</p> <p>教育講演 座長：林田道昭 (林田クリニック) 講演：藤澤隆夫 (国立病院機構三重病院臨床研究部) 「喘息とアレルギーにおける好酸球の新しい位置づけ」</p> <p>特別講演 座長：橋爪 誠 (橋爪医院) 講演：灰田美知子 (半蔵病院副院長) 「喘息患者に必要な患者教育」</p> <p>一般演題 座長：櫻井嘉彦 (奈良県立医科大学) 演者：清益功浩 (大和高田市立病院) 「奈良県における小児気管支喘息の実態調査」 演者：河原信吾 (かわはらこどもクリニック) 「奈良県で JPAC を使用した医療機関でのコントロール状況の把握デバイスについて」</p> <p>特別講演 座長：南部光彦 (天理よろず相談所病院) 講演：坂本龍雄 (労働安全衛生総合研究所) 「小児喘息の発症・増悪における環境要因の役割を検証する」</p>
<p>6. その他 (会議等) 第 47 回関西支部幹事会 平成 21 年 6 月 10 日 於：ホテルグランヴィア 出席者：7 名</p>	<p>主たる議題 1) 新公益法人認定申請に伴う定款の説明 理事・評議員関西支部として新たに正会員による選挙にて上位 2 名選出の説明・確認 2) 関西小児喘息センターに対し、一切アレルギー協会関与から外れる旨の報告</p>

関西支部 別紙：研究助成 (研究委託) の研究者、テーマ

研究者名、所属	研究題目
<p>細川 互 (大阪大学形成外科学教授) 杉山治夫 (大阪大学機能診断学教授) 片山一朗 (大阪大学皮膚科学教授)</p>	<p>美容医療において用いられる注入物質の抗原性に関する研究 WTI を標的にした癌の免疫療法の開発 低刺激性・低アレルギー性化粧品 CSS08 シリーズの敏感肌の人に対するパッチテスト</p>

研究者名、所属	研究題目
井上雅美（母子保健総合医療センター血液・腫瘍主任部長）	ウイルス感染症に関する研究
木下 茂（京都府立視覚機能再生外科学教授）	アレルギー性角結膜疾患における TLR3 を介した炎症制御機構の解明
木下 茂（京都府立視覚機能再生外科学教授）	眼表面炎症性眼疾患の病態解明と新規治療の開発に関する研究
木下 茂（京都府立視覚機能再生外科学教授）	オキユラーサーフェイス炎症性疾患の病態解明
本田哲也（京都大学医学部附属病院皮膚科）	アトピー性皮膚炎患者に対するジホモ- γ -リノレン酸含有食用油脂の有効性の検討
東田有智（近畿大学呼吸器・アレルギー内科教授）	遷延性咳嗽に対するロイコトリエン受容体拮抗薬の有用性」「吸入ステロイド薬と長時間作用性 β 刺激薬併用患者に対するロイコトリエン受容体拮抗薬の上乗せ効果の有用性」

中国支部（支部長 高橋 清）

（敬称略）

実 施 事 業	概 要
<p>1. 啓発活動事業</p> <p>第16回アレルギー週間</p> <p>(1) アレルギー週間の集い 2010 鳥取県アレルギー疾患講演会 （鳥取） 日時：平成22年2月13日（土） 於：倉吉交流プラザ（倉吉市） 参加人数：46名 個別相談3名</p> <p>(2) アレルギー週間の集い 2010 県民公開講座岡山アレルギー疾患講演会（岡山） 日時：平成22年2月21日（日） 於：岡山国際交流センター（岡山市） 参加人数：140名 個別相談12名</p> <p>(3) アレルギー疾患の集い 2010 アレルギー疾患の克服に向けて －講演会と個別相談会（広島） 日時：平成22年2月28日（日） 於：ホテルチュウリツヒ東方2001（広島市） 参加人数：126名 個別相談29名</p>	<p>アレルギー疾患についての一般向け講演会を鳥取県中部医師会と共催で実施した。個別相談も行った。 講師：光延文裕（岡山大学病院三朝医療センター長） 「呼吸器とアレルギー」</p> <p>岡山県民を対象にアレルギー疾患対策をわかりやすく解説し、正しい理解の普及に努めた。個別相談もあわせて開催した。 座長：藤原倫高（国立病院機構南岡山医療センター皮膚科医長） 講師：濱田利久（岡山大学病院皮膚科助教） 「アトピー性皮膚炎の診断と治療について」 座長：赤木博文（国立病院機構南岡山医療センター耳鼻科医長） 講師：岡野光博（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学准教授） 「スギ花粉症に対する免疫療法の現状と将来への展望」 座長：宗田 良（国立病院機構南岡山医療センター副院長） 講師：木村五郎（国立病院機構南岡山医療センターアレルギー科医長） 「ぜん息の新薬あれこれ」</p> <p>アレルギー疾患の克服に向けてのテーマで講演会と個別相談会を開催した。 講師：高路 修（こうろ皮膚科） 「アトピー性皮膚炎」 岡島宏易（呉共済病院小児科） 「食物アレルギー・小児科アレルギー疾患」 寺田満和（広島アレルギー呼吸器クリニック） 「ぜんそく成人・花粉症情報」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(4) アレルギー週間の集い 2010 島根県アレルギー疾患講演会 (島根) 日時：平成 22 年 2 月 28 日 (日) 於：松江テルサ (松江市) 参加人数：23 名 個別相談 2 名</p>	<p>一般市民を対象に、花粉症の解説と個別相談会を行った。 講師：川内秀之 (島根大学医学部耳鼻咽喉科教授) 「スギ花粉症の病態と治療—専門医による最新の治療法—」</p>
<p>2. 研究会事業</p> <p>(1) 第 15 回岡山アレルギーを考える会 日時：平成 21 年 5 月 31 日 (日) 於：岡山コンベンションセンター (岡山市)</p> <p>(2) 公開講座 岡山アレルギーシンポジウム 2009 サマーセミナー (共催) 日時：平成 21 年 7 月 25 日 (土) 於：国立病院機構南岡山医療センター</p> <p>(3) 第 5 回中国・四国喘息研究フォーラム 日時：平成 21 年 9 月 4 日 (金) 於：ホテルグランビア岡山 (岡山市)</p> <p>(4) 第 21 回中国・四国臨床アレルギー研究会 (共催) 日時：平成 21 年 9 月 5 日 (土) 於：岡山国際交流センター (岡山市)</p>	<p>テーマ：眼とアレルギー 講師：渡辺 聖 (児島市民病院参事) 「眼のアレルギー疾患」 奈邊 健 (京都薬科大学・病態薬科学系・薬理学分野) 「スギ花粉によるモルモットアレルギー性結膜炎モデルを用いた慢性病態の解析」 福島敦樹 (高知大学眼科学教授) 「アレルギー性結膜疾患の現況」</p> <p>テーマ：アレルギーの薬の上手な使い方 司会：宗田 良 (国立病院機構南岡山医療センター内科) 講師：藤原愉高 (国立病院機構南岡山医療センター皮膚科) 「外用薬 (塗り薬) の正しい使い方」 木村五郎 (国立病院機構南岡山医療センターアレルギー科) 「おとなの喘息薬の使い方と注意点」 水内秀次 (国立病院機構南岡山医療センター小児科) 「こどもの薬の使い方・つきあい方」</p> <p>特別講演 1 座長：池田政憲 (国立病院機構福山医療センター小児科部長) 講師：西牟田敏之 (国立病院機構下志津病院名誉院長) 「小児気管支喘息のコントロールを目指して—JPGL2008 の治療戦略—」</p> <p>特別講演 2 座長：高橋 清 (国立病院機構南岡山医療センター院長) 講師：秋山一男 (国立病院機構相模原病院院長) 「小児喘息からのキャリアオーバーとしての成人喘息」</p> <p>一般演題：7 演題 ワークショップ 1 「アレルギー臨床の進歩と展望」 — 1 ワークショップ 2 「アレルギー臨床の進歩と展望」 — 2</p> <p>特別話題 保澤総一郎 (広島アレルギー呼吸器クリニック) 「Ios と FeNO を用いた実地喘息診療」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>1. アレルギー週間フォーラム (1) 徳島アレルギーフォーラム 2010 平成 22 年 2 月 21 日 於：徳島東急イン 参加人数：34 名</p> <p>(2) 香川アレルギーフォーラム 2010 平成 22 年 2 月 27 日 於：香川県社会福祉総合センター 参加人数：30 名</p> <p>(3) 高知アレルギーフォーラム 2010 平成 22 年 2 月 28 日 於：高知市文化プラザ 参加人数：31 名</p>	<p>講演</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 食物アレルギーとインフルエンザワクチンについて 榎本新也（えもとこどもクリニック） 2) アレルギーと成人喘息について 吾妻雅彦（徳島大学病院呼吸器・膠原病内科） 3) 花粉症の診断と治療 北村嘉章（徳島大学病院耳鼻咽喉科） 4) アレルギー性結膜炎 江川麻理子（徳島大学病院眼科） <p>話題提供</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) メロンアレルギーゼロへの挑戦 阿波農業高校農業専攻科学生 <p>質疑応答</p> <p>講演</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 成人気管支喘息について 山本晃義（高松赤十字病院呼吸器科） 2) 吸入療法について 木村友美（高松赤十字病院薬剤部） <p>質疑応答</p> <p>テーマ：アレルギーに負けないで</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アレルギーの予防と治療 クイズ <ol style="list-style-type: none"> 1) ぜんそくについて 大西広志（高知大学血液・呼吸器内科） 2) 食物アレルギーについて 小倉英郎（高知病院アレルギー・小児科） 3) 花粉症について 西窪加緒里（高知大学耳鼻咽喉科） 4) ハチアレルギーについて 土居裕幸（高知医療センター呼吸器・アレルギー科） 2. 個別医療相談
<p>2. 研究会の共催</p> <p>(1) 喘息治療フォーラム 2009in 愛媛 平成 21 年 4 月 10 日 於：ホテル JAL シティ松山 参加人数：54 名</p> <p>(2) 気管支喘息学術講演会 平成 21 年 6 月 26 日 於：ホテルグランドパレス徳島 参加人数：29 名</p>	<p>「喘息死ゼロを目指して～新しい治療戦略～」 中西徳彦（愛媛県立中央病院アレルギー科） 小谷信行（松山赤十字病院小児科） 井上智喜（松山市民病院薬剤部） 濱田麻紀子（国立病院機構愛媛病院理学療法士）</p> <p>「気管支喘息に対する医療連携のあり方 ～厚生労働省 喘息死ゼロ作戦をめぐって～」 上田暢男（伊予鉄道診療所、愛媛県立中央病院特別顧問）</p> <p>「吸入ステロイドの位置づけとその役割～今増えつつある高齢者喘息、慢性咳嗽を含めて～」 相良博典（獨協医科大学越谷病院呼吸器内科）</p>

実施事業	概要
(3) 気管支喘息死を避けるために 平成 21 年 9 月 10 日 於：セントラルホテル鴨島 参加人数：32 名	「重症難治性喘息の臨床的特徴と新しい治療法」 玉置 淳（東京女子医科大学第一内科）
(4) 高知喘息アレルギー研究会 平成 21 年 11 月 24 日 於：ホテル日航高知 参加人数：40 名	「薬剤性肺障害」 橋本 修（日本大学医学部呼吸器内科）
(5) 徳島呼吸器疾患講演会 平成 22 年 2 月 5 日 於：ホテルクレメント徳島 参加人数：48 名	「COPD 増悪予防戦略」 巽 浩一郎（千葉大学加齢呼吸器病態制御学） 「喘息治療の進歩と展望」 井上洋西（岩手医科大学 呼吸器・アレルギー・膠原病内科）
(6) 徳島県西部喘息セミナー 平成 22 年 3 月 2 日 於：セントラルホテル鴨島 参加人数：27 名	「高齢者喘息の病態と治療」 岡田千春（国立病院機構東京医療センターアレルギー科）
(7) 高知県アレルギー研究会 平成 22 年 3 月 4 日 於：高知新阪急ホテル 参加人数：64 名	「高知県下における喘息・COPD 治療の実際～高知県の呼吸器疾患に関する実態調査結果より～」 大串文隆（国立病院機構高知病院 院長） 「喘息治療における新しい話題～喘息治療に関する新しい考え方～」 足立 満（昭和大学医学部呼吸器・アレルギー内科）

九州支部（支部長 西間三馨）

（敬称略）

実施事業	概要
1. 研究助成 1) 空中花粉調査研究	1) 福岡市 2 ヶ所の耳鼻科医院において、問診表による花粉症発症状況調査。2 ヶ所の耳鼻科において、スギ花粉症患者受診数と花粉飛散量との経年関係検討 2) 九州各県の大学耳鼻科における九州の空中花粉調査(22年目) 3) 花粉情報 福岡県、九州各県花粉情報広報活動 (福岡県医師会、九州各県医師会と日本気象協会福岡本部との共同活動) 新聞、ラジオ、テレビ 4) 日本列島の空中花粉分布調査 全国 15 ヶ所で花粉を採取し、福岡病院で算定し、花粉地図、カレンダー作成
2) 自由課題研究助成	気管支喘息患者に対する気管支喘息薬の有効性に関する検討 (平成 21 年 1 月～平成 23 年 12 月) 下田照文（国立病院機構福岡病院臨床研究部長）
3) 学術交流研究助成	第 26 回日本小児喘息難治喘息アレルギー疾患学会 会期：平成 21 年 5 月 30 日（土）、31 日（日） 会場：九州大学医学部百年講堂 会長：岡田賢司（国立病院機構福岡病院小児科医長）

実 施 事 業	概 要
<p>2. アレルギー研修会（医家向け）2009 熊本市 日時：平成 21 年 11 月 19 日（木） 場所：熊本全日空ホテルニュースカイ 参加人数：42 名</p>	<p>講演 1 座長：西間三馨（国立病院機構福岡病院名誉院長） 講師：吉原重美（獨協医科大学小児科学准教授） 「ウイルス感染と小児気管支喘息」</p> <p>講演 2 座長：福田浩一郎（熊本市民病院呼吸器科部長） 講師：興梠博次（熊本大学大学院医学薬学研究部呼吸器病態学教授） 「成人喘息治療の最新の情報」</p> <p>講演 3 座長：湯本英二（熊本大学大学院医学薬学研究部頭頸部感覚病態学分野教授） 講師：藤枝重治（福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授） 「アレルギー性鼻炎と初期療法」</p>
<p>3. 啓発活動</p> <p>1) 第 16 回アレルギー週間</p> <p>(1) 福岡市開催 日時：平成 22 年 2 月 14 日（日） 場所：天神ビル 11F10 号会議室 参加人数：100 名</p> <p>(2) 鹿児島市開催 日時：平成 22 年 2 月 28 日（日） 場所：キャンセ 7 階よかセンター 参加人数：24 名</p>	<p>アレルギーと日常生活 司会：西間三馨（九州支部長） 岩永知秋（国立病院機構福岡病院長）</p> <p>1) 鼻アレルギー 黒野祐一（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科教授）</p> <p>2) 食物アレルギー 柴田溜美子（国立病院機構福岡病院小児科部長）</p> <p>3) 喘息：成人 岩永知秋（国立病院機構福岡病院長） 喘息：小児 小田嶋博（国立病院機構福岡病院副院長）</p> <p>4) アレルギー性結膜炎 内尾英一（福岡大学医学部眼科教授）</p> <p>5) アトピー性皮膚炎 古江増隆（九州大学医学部皮膚科教授）</p> <p>6) アレルギーとストレス 久保千春（九州大学病院長）</p> <p>第 3 回耳の日ならびにアレルギー週間公開講座 司会：松根彰志（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科准教授）</p> <p>第 1 部 一耳の健康を考える一</p> <p>1) 聞こえのしくみと難聴・補聴器 大堀純一郎（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科）</p> <p>2) やさしいめまいと耳鳴りの話 宮之原郁代（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科）</p> <p>第 2 部 一睡眠時無呼吸症候群と花粉症一</p> <p>1) 鼻づまりと睡眠時無呼吸症候群 田中紀充（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科）</p> <p>2) アレルギー性鼻炎の最新治療と今からできる花粉症対策 黒野祐一（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科教授）</p>

実 施 事 業	概 要
<p>2) 一般向け活動</p> <p>(1) 第33回喘息児水泳教室 日時：平成21年4月から平成22年3月 参加人数：延べ2,460名</p> <p>(2) 第39回ぜんそく児サマーキャンプ 日時：平成21年8月4日～7日 参加人数：38名 場所：福岡県立英彦山青年の家</p> <p>(3) 喘息市民公開講座 日時：平成21年9月27日(日) 場所：大分東洋ホテル2F「二豊の間」 参加人数：100名</p> <p>(4) 第5回福岡病院アレルギー・喘息教室 日時：平成21年11月7日(土) 場所：国立病院機構福岡病院研修情報センター1階 参加人数：61名</p> <p>(5) アレルギー談話室</p> <p>3) 医師向け活動 九州アレルギー講習会</p> <p>(1) 福岡県 日時：平成22年2月13日(土) 場所：天神ビル 参加人数：59名</p> <p>(2) 佐賀県 日時：平成22年2月10日(水) 場所：マリトピア3階「吉祥」 参加人数：75名</p>	<p>学童、幼児、喘息児、リウマチ患者等に対する水泳訓練による心身の健全な育成</p> <p>ぜんそくにうちかつためとレクレーションをかねて</p> <p>演題：「気管支喘息～古くて新しい病気～」 講師：保澤総一郎（広島アレルギー呼吸器クリニック院長）</p> <p>座長：下田照文（国立病院機構福岡病院臨床研究部長） 講師：本村知華子（国立病院機構福岡病院小児科） 「小児の食物アレルギーと気管支喘息」 古森雅志（国立病院機構福岡病院呼吸器科医長） 「成人喘息とウイルス感染 インフルエンザを主に」</p> <p>KBC ラジオ放送 平成22年3月28日で1,590回</p> <p>1 部 座長：久保千春（九州大学病院長） 講師：西間三馨（国立病院機構福岡病院名誉院長） 「小児喘息治療管理ハンドブック2009のポイント」 古江増隆（九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野教授） 「アトピー性皮膚炎の最近の知見と治療の実際」</p> <p>2 部 座長：西間三馨（国立病院機構福岡病院名誉院長） 講師：井上博雅（九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学分野准教授） 「気管支喘息の最新治療－特にステロイド薬を中心に」 黒野祐一（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授） 「アレルギー性疾患－特に花粉症について」</p> <p>一般演題 座長：成澤 寛（佐賀大学医学部皮膚科学教授） 講師：安部友範（佐賀大学医学部呼吸器科学） 「高度発作にて来院したアスピリン誘発喘息の1例」 大津正和（佐賀大学医学部皮膚科学） 「アスピリン不耐症の1例」</p> <p>特別講演 座長：井之口昭（佐賀大学医学部耳鼻咽喉科教授） 講師：市村恵一（自治医科大学耳鼻咽喉科教授） 「局所用ステロイドはなぜ鼻閉に良く効くのか」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(3) 熊本県 日時：平成 22 年 1 月 21 日（木） 場所：ホテルニューオータニ熊本 3F「鳳凰」 参加人数：74 名</p>	<p>座長：興梠博次（熊本大学大学院医学薬学研究部呼吸器病態学教授） 講師：栃木隆男（鴨池生協クリニック院長） 「喘息治療の臨床～臨床医の先生方に役立つノウハウ ABC～」 座長：湯本英二（熊本大学大学院医学薬学研究部頭頸部感覚病態学教授） 講師：岡本美孝（千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学教授） 「アレルギー性鼻炎の現状と気道アレルギーへの対応」</p>
<p>(4) 大分県 日時：平成 22 年 3 月 6 日（土） 場所：大分東洋ホテル 2F「二豊の間」 参加人数：63 名</p>	<p>特別講演 1 座長：片桐一元（大分大学医学部皮膚科・形成外科学講座准教授） 講師：縣 裕篤（愛知医科大学病院小児科学講座教授） 「小児アトピー性皮膚炎の治療～VAS による評価法も含めて～」 特別講演 2 座長：鈴木正志（大分大学医学部耳鼻咽喉科学講座教授） 講師：石戸谷淳一（横浜市立大学附属市民総合医療センター耳鼻咽喉科教授） 「最近注目されている上気道の好酸球性炎症—好酸球性副鼻腔炎・好酸球性中耳炎—」 特別講演 3 座長：宮崎英士（大分大学医学部地域医療学センター教授） 講師：山口哲生（JR 東京総合病院副院長） 「サルコイドーシス short stories ①病因論 ②皮膚病変のテトラサイクリン療法 ③上気道病変の診断 ④肺病変への吸入ステロイド療法」</p>
<p>(5) 宮崎県 日時：平成 22 年 3 月 9 日（火） 場所：宮崎県医師会館 2 階研修室 参加人数：36 名</p>	<p>特別講演 座長：千坂治夫（ちさか小児科院長） 講師：勝沼俊雄（東京慈恵会医科大学小児科学准教授） 「小児気管支喘息の適正治療とアレルギーのトピックス」</p>
<p>(6) 鹿児島県 日時：平成 22 年 2 月 4 日（木） 場所：城山観光ホテル「飛天の間」 参加人数：74 名</p>	<p>座長：黒野祐一（鹿児島大学大学院耳鼻咽喉科頭頸部外科学教授） 講師：松根彰志（鹿児島大学医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科准教授） 「アレルギー性鼻炎・花粉症に対する代替医療の位置づけ」 土橋邦生（群馬大学医学部保健学科教授） 「成人喘息治療の新展開—喘息死ゼロをめざして—」</p>
<p>(7) 沖縄県 日時：平成 22 年 3 月 24 日（水） 場所：ホテルロイヤルオリオン 参加人数：32 名</p>	<p>特別演題 1 座長：藤田次郎（琉球大学医学部感染病態制御学講座教授） 講師：東元一晃（鹿児島大学医学部・歯学部附属病院呼吸器・ストレスケアセンター呼吸器内科講師） 「知っておきたい気管支ぜんそく関連疾患～その病態・診断と治療戦略～」 特別演題 2 座長：宮城征四郎（群星沖縄臨床研修センター長） 講師：勝沼俊雄（東京慈恵会医科大学小児科学准教授） 「小児喘息と吸入ステロイド～早期介入で経過を変えられるか？」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>4. 研究会、講演会事業 第8回熊本耳鼻咽喉科アレルギー研究会 日時：平成22年3月27日（土） 場所：熊本大学医学部附属病院 参加人数：26名</p>	<p>一般演題 演題1 講師：定永恭明（定永耳鼻咽喉科クリニック） 「小児アレルギー性鼻炎に対する抗アレルギー剤臨床 治験の経験」</p> <p>演題2 講師：藤村敬之（藤村耳鼻咽喉科医院） 「アレルギー性鼻炎と漢方治療」</p> <p>特別講演 座長：鮫島靖浩（熊本大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部 外科） 講師：増田佐和子（国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科医長） 「小児のアレルギー—上気道から下気道への包括的アプ ローチを目指して—」</p>